

当所図書の紹介

第64回技術図書(和・洋書)

(著者名)	(書名)	(出版社)	(出版年月)
D. H. Wills, W. F. Barnd, Oivile T. Nagoon	Bern Breakwaters バーム型防波堤	ASCE	1986年
ASCE	Failure of the Breakwater at Port Sine Portugal ポルトガルシネマ港防波堤の被災について	ASCE	1978年
F. H. ホーキンス 運輸省	ヒューマンファイター 90年代の交通政策	成山堂 ぎょうせい	平成4年1月 平成3年12月
農業土木学会 北海道支部	北海道における農村環境整備の展開	農業土木学会 北海道支部	平成4年1月
日本造船学会 海中技術専門委員会	海中技術一般	成山堂	平成4年2月
岡部牧夫	地球環境をめぐる旅	三一書房	1992年2月
宇沢弘文	自動車の社会的費用	岩波書店	1992年1月
力武常次	東京圏直下大地震が迫る	講談社	1991年11月
オホーツク海・氷海 研究グループ	オホーツク国際流水ロード 第7回オホーツク海と流水に関する国際シンポジウム講演要旨集	オホーツク海・氷海 研究グループ	1992年2月
土質工学会北海道支部	火山灰に関する研究討論会論文集	土質工学会北海道支部	平成4年3月
Norbert Lanig 他	Deutscher Ausschuss fur Stahlbeton Hert 420 1991 ドイツ鉄筋コンクリート学会報告書	Beuth Verlag GmbH	1991年
Norbert Bunke 他	Deutscher Ausschuss fur Stahlbeton Hert 422 1991 ドイツ鉄筋コンクリート学会報告書	Beuth Verlag GmbH	1991年
Rainer Grzesck- owitz 他	Deutscher Ausschuss fur Stahlbeton Hert 423 1992 ドイツ鉄筋コンクリート学会報告書	Beuth	1992年
須賀堯三	川の個性 一河相形成のしくみ一	鹿島出版会	1992年2月
William Seaman, Jr. Lucian M. Spragus	Artificial Habitats for Marine and Freshwater 海水域および淡水漁業のための人工生息場	丸善	平成元年9月
ICE	Developments in Breakwaters 防波堤の開発	ICE	1986年
Sidney Mindess	Ceramic Transactions 16 Advances in Cementitious Materials セメント材料の発展	ACI	1990年
通商産業省 北海道通商産業省	エアロポリス 一21世紀国際空港都市構想一	通商産業省 北海道通商産業省	1991年
土質工学会北海道支部	火山灰に関する研究討論会 論文集	土質工学会北海道支部	平成4年3月
T. V. R Pillay	Aquaculture and the Environment 養殖と環境	Fishing New Books	1992年
ジョン ジャンセン	日本人が知らないアメリカ英語	ジャパントタイムズ	1991年
ジュイズム, H. W. ウェイブ	日本人に共通する英語のミス121	ジャパントタイムズ	1992年
ケリー伊藤	ケリー伊藤の英語で言いたい	ジャパントタイムズ	1992年
デビット・シャピロ 著 小黒昌一 訳	すぐに使える英語スピーチ99	ジャパントタイムズ	1991年
石山輝夫	日本人に共通する英語のミス ビジネス編	ジャパントタイムズ	1992年
Yoshiji Matumoto, Takashi Nishioka	Theoretical Tunnel Mechanics トンネル力学理論	University of Tokyou Press	1991年

(著者名)	(書名)	(出版社)	(出版年月)
太田 実	崩れ行く技術大国	サイマル	1992年
脇木和昌, 垂水共之, 田中 豊	パソコン統計解析ハンドブック IV	共立出版	1992年
建設省	建設業とリサイクル再生資源利用促進法解説	大成出版	1992年
建設省	精選 手作り郷土賞 6	ぎょうせい	平成4年3月
機械設計便覧編集 委員会	機械設計便覧	丸善	平成4年3月
土木学会東北支部	東北支部技術研究発表会講演会概要 平成3年度	土木学会東北支部	平成4年3月
江夏 弘	わが国における被用者発明制度の沿革とその法的 解釈	国会資料編集会	平成4年1月
松本嘉司, 西岡 隆	トンネル設計理論	共立出版	1992年1月
加藤 寛	2010年の北海道	UHB	1992年2月
寒地環境工学研究会	寒地環境工学合同シンポジウム講演論文集 5	寒地環境工学研究会	平成4年4月
建設省	道路の樹木	道路緑化保全協会	平成4年2月
土質工学会	土の物理試験方法シンポジウム	土質工学会	平成4年3月
木曾三川 水と文化の研究会	木曾三川に生きる	木曾三川 水と文化の研究会	平成4年3月
R. S. K. Barncs K. H. Mamm	Fundamentals of Aquatic Ecology 基本的な水の生態学	Blackwall Scien fic	1991年
Heinz-otto Peitgen	Fractals for the Classroom ; Strategic Activities 1 授業用フラクタル	Springer Verlay	1991年
Evan. M. Maletaky 他	Fractals for the Classroom ; Strategic Activities 2 授業用フラクタル	Springer Verlay	1992年

当研究所図書室利用者のため、入手図書の紹介については、本紙1982年8月 No. 351に定期技術雑誌として紹介したのを初めに、その後隔月ごとに紹介を重ね、前回（1992年12月 No. 475）までで63回を数えております。

(抜 企画調整課情報管理係)

## サ ロ ン

1月の正月気分も覚めやらぬ中ごろ、突然2週間の研修を命じられた。「あれやこれやと忙しいのに研修なんて行ってもらえるか」と猛反対したが結局行く羽目になり2週間の短期間ではあるが日常業務を離れて埼玉県の田舎で過ごす羽目となった。研修内容は政治、経済、国際問題、行政など日頃微分方程式に首までどっぷりと浸かっていた小生にとってはそれなりに新鮮なものであった。

研修中印象的だったのは、労働時間と余暇の話題であった。正直言って学校を出てから30半ばの現在まで人生の大部分が仕事（研究）中心であり、忙しい時は土曜も日曜も無かった。ひどい話ではあるが余暇を楽しむなどという精神的な余裕も無く、そんなことは怠け者のやることと考えていた。ところが、最近の内外事情からすると、どうやら今やどれだけ余暇を楽しむかがトレンドらしい。賢明な読者の皆様は、そんなの今や当然至極だとおっしゃるかも知れないが、小生遅ればせながらやっと気が付いたようだ。これからは、上から、回りから、自分自身からの仕事に対する圧力を徹底的に拒否して、今まで仕事に捧げた青春を取り返すぞ！……と決意して研修から帰ってみると、机の上は大量の仕事、出張や会議、原稿締め切りが待っていた。思わず、「何が余暇だ！」と叫びたい気持ちを押さえつつ、「サロン」の原稿を書いている。

(記 清水康行)